

寝屋川市 いじめ問題解決事業 (寝屋川市 監察課より提供)

**本気で いじめ0 をめざす!**

寝屋川市の いじめ事業の対応フロー

教育的アプローチ 学校・教育委員会  
学校は、教育的指導、「いじめの予防・見守り」に専念

check! 監察課がいじめを徹底的に抑え込む！  
毎月全児童・生徒に「いじめ通報促進チラシ」を配布し、情報提供を促す。

行政的アプローチ 市長部局「監察課」  
いじめの初期段階から、被害児童・生徒、加害児童・生徒、保護者、教職員などに積極的に関与し、調査・対応するとともに、必要に応じて対応を行います。

法的アプローチ 外部機関  
いじめの被害者が警察へ告訴、民事での訴訟を行う場合の手続きの支援や、必要な弁護士費用を補助(上限30万円)します。

**1か月以内にいじめ行為を停止 全件でいじめの終結を確認!**

**寝屋川移住計画 NEYAGAWA**

引っ越し先には、教育環境が良いところを選ぶのがポイントです。

全国から注目!!

移住すると...

**監察課は必ず解決します!**

いじめだけでなく、学校生活や先生のことなど、どんなことでもご相談ください!

これっていじめかも?と思ったら……

**いじめ通報促進チラシ**

- 市内の小中学生に毎月1回配布!
- 保護者の方からの通報も受け付けます
- 下記のリンクからダウンロードできます

じっくり考えながら相談したい

**メール**

- メールアドレス: kansatsu@city.neyagawa.osaka.jp

ケースワーカーと直接話したい

**フリーダイヤル**

- TEL 0120-7830-66
- 午前9時00分～午後5時30分 ※月曜日から金曜日(土日祝除)

「もっと寝屋川」を使っている

**市公式アプリ**

- 24時間いつでも通報が可能。

気軽に相談したい

**LINE**

- QRコードを読み取り、画面に従って選択・入力。

いじめ解決のプロの『監察課』ってどんなところ?

監察課と話をしよう!

監察課がみなさんの学校にお伺いして、いじめの解決に向けて取り組んでいることや効果などをお話しし、みなさんの疑問にお答えします。

監察課×子どもたち “顔が見える” 関係を築く

いじめゼロに向けた新アプローチ

監察課 学校

**いじめ通報促進チラシ**

解決策、あなたの情報!

大分県の事例 ICT 学習支援事業 (大分県教育委員会より提供)

ICTを活用した学習支援

- 【課題】  
○不登校の児童生徒や教室に入ることができない生徒への学力補充や進路実現に向けたサポートの難しさ
- 【対象】  
○教育支援センター・フリースクール等と繋がりのない不登校児童生徒 (R5 : 90人) および登校支援員配置校 (R5 : 35校)
- 【効果】  
○社会的自立の基礎となる学力の補充 ○学習支援をきっかけとした学校復帰  
○支援ルームでの登校支援員および教員の負担軽減

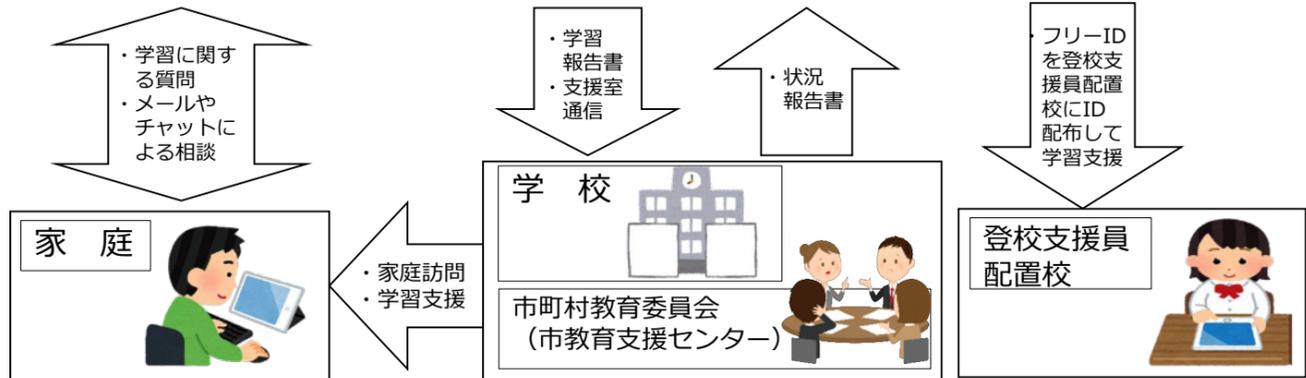
大分県教育委員会 大分県教育センター

**オンライン学習支援システム**

- 5教科の教科書に対応
- 単元に沿った学習が可能
- 小学校 (国語・算数・理科・社会)
- 中学校 (英語・国語・数学・理科・社会)
- AIにより最適な問題選択
- 問題演習では、2回目以降は学習者の解答状況により自動選択
- 学習データ管理
- 学習者個人の成績や分野別到達度等を表示可能
- 「システム」に関する質問受付

**家庭学習支援員**

- 「学習」に関する質問受付
- メールやチャット等による双方向支援
- 毎月の各利用者の学習報告書の作成および報告書の送付
- 市町村教育委員会および学校と連携して利用者支援



**不登校児童生徒の支援組織**

【SC】スクールカウンセラー 【SSW】スクールソーシャルワーカー

**各学校**  
「教育相談コーディネーター」を中心に、不登校対応アシスタントを育成し、SC・SSW等の専門家を入れた「チーム学校」の組織でアセスメントを行いながら、別室等における学習支援等を行っています。

**関係機関**  
医療・福祉・警察・児童相談所 社会福祉協議会・人材派遣業者等  
不登校の児童生徒及びその保護者が抱えている様々な課題に応じた対応を行っています。

**教育機関**  
県や市町村にある図書館や公民館などにおいて、不登校の児童生徒の読み聞かせ体験や施設などでの社会的自立に向けた活動を行っています。

**フリースクール**  
不登校の児童生徒を多く受け入れ、その児童生徒の状況に合わせた学習や体験などの様々な教育活動を行っています。開校日や時間・費用なども様々です。

**教育委員会**  
県と市町村の教育委員会が連携して、情報を共有しながら、不登校児童生徒等の支援が行われるよう、「地域児童支援推進員コーディネーター」や「SC」「SSW」の配置を進めています。

**教育支援センター**  
各学校と連携して、不登校の児童生徒が帰校して学習や体験活動を行ったり、保護者が悩んでいる場合、支援センターで相談したりできる施設です。

**県**  
私学協賛・青少年課 ことば・家庭支援課  
県教育委員会と連携して、私立学校の児童生徒の支援を行っています。福祉的な支援を行うこともできます。

**不登校を考える親の会**  
不登校の児童生徒の親同士が体験を語り合ったり、情報共有したりして、気持ちを受けとめ合い、考え方を深め合う機会を確保しています。実際に不登校を経験した人の体験を聞く機会もあります。

**おい子ども・若者総合相談センター**  
不登校や引きこもり、ネットなど社会的自立に悩む若年層青少年及びその家族を支援するための総合相談窓口です。県・市町村の協働で一丸となって適切な支援になります。